

蒼穹NEWS No.5

東大戦展望号

平成 15 年 9 月 25 日発行



～～～ 目 次 ～～～

1. 主 将 挨 拶
2. 東 大 戦 日 程
3. 東 大 戦 展 望
4. 近 国 の 結 果
5. 同 志 社 戦 の 結 果
6. 記 録 会 の 結 果 など

主将挨拶

いよいよ東大戦と相成りました。

今年は関西 I.C. で一部に昇格したものの、七大戦では大阪大学の前に 2 位に敗れました。ですがその反省を生かし、故障者の復帰、そして部員各自もさらなる練習を積み、かならずや東大に勝利できる戦力になったと思います。

七大戦では多くの応援をいただきながら、非常に申し訳ありませんでした。

東大戦こそは勝利をお届けできるよう全力を尽くします。

OB の皆様方にはご多忙かと存じますが、なにとぞ競技場まで足を運んでくださり、選手をご声援くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

京都大学陸上競技部主将

寺田 智

東大戦日程

2003年10月5日(日) 東大駒場グラウンド

10:00 開会式

トラックの部		フィールドの部	
10:30	100m	10:30	走高跳／ハンマー投
10:35	女子100m		
10:45	1500m		
11:00	5000mOPEN	11:30	走幅跳／女子走幅跳
12:00	400m	11:45	円盤投
12:05	女子400m		
12:30	110mH		
13:00	4×100mR		
13:15	800m	13:15	棒高跳／砲丸投
13:20	女子800m		
13:25	800mOPEN		
13:45	200m		
13:50	200mOPEN		
14:10	400mH		
14:30	女子3000m	14:30	三段跳／やり投
14:50	5000m		
15:20	女子4×100mR		
15:30	4×400mR		

16:00 閉会式

東大戦展望

(記録は大学での自己ベストを記載)

100m

若山 哲志 (5)	11.08
花谷 直人 (4)	11.05
松井 延行 (2)	11.01

去年の追いコンにて陸上引退宣言をした若山であったが、案の定復帰することとなった。当初はブランクが心配されていたが、以前にも勝る筋骨隆々な肉体を身につけ、復帰戦となった同志社戦ではいきなり100mのベストを更新した。今回も好走が期待される。

デカスリートでありながら我が部の短距離陣を支えとなっている花谷は、やはり腰の調子が思わしくないが、それでも実力は十分である。最後となる東大戦にて、良い結果を残したい。

夏に大きく故障し、怪我明けのレースとなる松井であるが、その実力は健在である。将来も期待される選手なので、無理はせず着実なレースをしてもらいたい。

花形種目である100mは東大と実力が拮抗しているが、なんとしても勝ち越してもらいたい。また3人とも10秒台で走れる実力を持っているはずなので、順位だけでなく記録にも注目したい。

200m

藤井 章輔 (3)	22.13
北垣 卓 (3)	22.45
村地 優樹 (3)	22.58

七大戦の4継で肉離れを経験してしまい今シーズンは絶望とも思われた北垣であったが、驚異的な回復力を見せ、今では普通に加速走などもこなせるまでに回復した。怪我明けとなるため練習不足は否めないが、宿敵である短距離パートチーフ村地優樹も出場するので、良いレースを見せてくれるはずである。

すっかり200mのエースとなった藤井は、安定して22秒2程度を保ち続けており、今回でもかなり良い記録が期待される。彼が優勝するのは間違いないだろうが、是非21秒台を出してもらいたいものである。

短長のエースであり短距離パートチーフである村地は、今回400mだけでなく200mにも出場する。普段はいつも頼りない感じを見せてはいるが、主要な大会ではきっちり結果を残せているので、今回も問題はないだろう。

全体として200mはこちらの方が実力は上であり、勝ち越す事はほぼ確実である。是非ともスコンクを目指してもらいたい。

400m

村地 優樹 (3)	48.60
水谷 太郎 (1)	49.91
涌井 健策 (1)	54.08

関西インカレの決勝で48秒60というベスト記録を出して以来、50秒を一度も切れないでいる悩める短長のエース村地であるが、本人曰くかなり調子が戻ってきているようであり、スタートして50秒以内には必ずゴールするとの事。公約を守れなければ短距離パートチーフの地位剥奪となるので、気合は十分である。

村地とは反対に好調を保ち続け、本来の実力に近づきつつある水谷は400mにも出場し、短距離パートチーフを脅かす。大学ベストは50秒42であるが、最近の走りを見る限り50秒切りは確実であろう。

一時はボート部に入部し、しかしその環境の厳しさに負け陸上競技にカムバックした涌井は高校時代49秒台で走っており、高い実力の持ち主である。かつて同様な境遇で我が部におられた大屋氏は非常に勝負強い選手であった。彼もおそらく勝負強いはずである。

総合で見て400mは我が京大が優勢である。ここで大きく勝ち越して、マイルリレーへの架け橋としたい。

800m

磯島 弘 (2)	1.57.09
前川 真彦 (1)	1.55.55
岡本 英也 (1)	1.56.99

前川は、今最も成長著しい期待の1年生である。すでに今年名古屋で行われた七大戦において2位にくいこむなど、大きな試合できっちり結果を残す勝負強さを備えている。また、持ちタイムも9月5日に行われた記録会で、それまでの1分57秒台から一気に1分55秒台に更新して自信を深めており、優勝を狙えるであろう。

岡本も1年生にしてすでに1分56秒台をマークしている有望選手である。レースごとのタイムも安定しており、1分57秒台をコンスタントに出している。東大戦では前川との壮絶なデッドヒートが見られることであろう。

磯島は、ようやく6月の故障から復帰してきた。故障後、何回か800mの試合にも出場し、試合の感覚も大分取り戻してきている。まだスプリント系の練習ができていないなど練習不足は否めないが、東大戦に照準を合わせてきているので力強い走りに期待したい。

800mの布陣は、ここ数年ではかなりレベルの高いものになった。最近の東大戦は、中距離種目において低い点数に悩まされてきただけに、今年は東大戦連覇に向けて京大の得点に貢献してもらいたい。

1500m

佐藤 章徳 (4)	4.02.43
西村 好康 (3)	3.54.05
三好 達也 (2)	4.11.82

西村は、今まで練習量は少なくとも、自らの課した質の高い練習によって、数々の功績を出してきた。さらに最近、他大学の合宿にも参加するなど積極的に走りこんでおり、さらなる飛躍を狙っている。長距離のエースとして複数種目に出場するため、記録を狙うことはできないかもしれないが、さらにタフさが増しており優勝は磐石といったところ。早い時間帯に行われる種目のため、連覇に向けて京大勢を景気づけてほしい。

佐藤は、今年も3000mSCを中心に活躍してきたが、1500mにおいてもメキメキと力をつけ、ベストに近いタイムを何本も出すなど、大変安定している。西村と同様、複数種目に出場のため、3分台はお預けかもしれないが、それを考慮しても実力的に佐藤と西村が抜けており、この2人がレースを主導すれば京大のワンツールの可能性が極めて高く、大量得点が期待できる。

三好は、2回生になって徐々に力をつけてきた選手である。夏合宿で快走を見せ、その後の同志社戦で大学ベストをマークした。高校時代からもとも力のある選手であり、レース展開にもよるが、東大戦では上記のタイムを更新する可能性が高い。京大の2大エースについていって、今後の飛躍への自信にしてもらいたい。

5000m

佐藤 章徳 (4)	15.02.3
西村 好康 (3)	14.32.70
宮木 貴志 (2)	15.43.94

西村は、いつものように1500mのあとの出場となる。もうこのパターンはお手の物であり、東大側で絡んできそうな選手もいない。確実にこの種目3連覇を達成できるだろう。

西村以外では、佐藤・田中・宮木の3人のうち、当日までの記録の良い2人が出場する。

佐藤は今季15分40秒程度で安定してしまっているが、ハマれば14分台を出す可能性もある。昨冬の走りを取り戻したい。

田中は先日、競技会に復帰したばかりだが、練習は継続していた。独特の調整法できっちり合わせて来るだろう。

宮木は、春からずっと質の高い練習を続けられており、対校戦の経験を積んだ今なら大化けしてもおかしくない。

以上、誰が出場することになっても好勝負が期待できる。

110mH

若山 哲志 (5)	15.15
佐藤真一郎 (4)	14.85
尾崎 禎亮 (3)	15.48

この東大戦が前期試験明け初のレースとなる若山は、試験の出来具合がレースの結果に大きく左右するだろう。今年度で卒業し、来年度から京都銀行で働くためにはあと54単位が必要であるが、そんな事は忘れてレースの方に集中してもらいたい。

その若山が無事に卒業すべく、先の西日本インカレ(in博多の森陸上競技場)の帰りに大宰府天満宮で学業祈願に赴いた先輩思いの佐藤は、大学院試験と異常に早く始まっている卒業研究のために練習量は不足しているが、相変わらず14秒台では走っており死角はない。今回は4種目出場となるため、疲れを残さないレース展開を期待したい。

まだまだ不調のトンネルを抜け切れないうる尾崎であるが、毎年秋シーズンでは良い記録を出せているので、そろそろ復調のきっかけをつかんでもらいたい。

全体としては今年も東大陣には強力なハードラーはいないのでスコンクできそうである。おそらく午前中のレースになるであろうから、このスコンクで京大に流れをもっていきたいものである。

400mH

佐藤真一郎 (4)	57.65
水谷 太郎 (1)	52.86
前川 真彦 (1)	56.20

佐藤はまだ4度しか400mHに出場した事がなく、さらには全く400mHの練習はやっていないため経験不足は否めないが、ハードルに関しては高い知識を有しているのできっちり仕事を果たしてくれるであろう。

大学に入学してから非常に調子のよい前川は、これから期待される新人である。800mによる疲労が心配であるが、彼なら問題ないはずである。水谷を脅かすようなレースをしてもらいたい。

1回生ながら蒼穹記録保持者である水谷は、ハードル練習も欠かさず抜かりがない。彼の圧倒的勝利は間違いないが、記録の方にも期待したいものである。

東大には強い400mH選手がいないので、この種目においても勝ち越すのは確実であろう。佐藤、前川の頑張り次第ではスコンクも不可能ではない。

4×100mR

米谷 健司 (5)	11.29
若山 哲志 (5)	11.08
花谷 直人 (4)	11.05
北垣 卓 (3)	11.11
藤井 章輔 (3)	11.16
松井 延行 (2)	11.01
石田 真大 (1)	11.24

オーダーは石田 - 若山 - 藤井 - 花谷の予定である。ようやく 11 秒 3 台の呪縛から逃れ、自己ベストに近い 11 秒 24 をマークした石田は、スタート前半の速さは安定しており、いい位置でバトンを繋ぐ事が出来るだろう。若山、藤井、花谷はリレーの経験も豊富であり、大崩れすることはまずないので安心である。確実なバトンパスを心がけ、確実に勝利をしてもらいたい。なお関西インカレや七大戦とは大きくオーダーが変化しているが、実力の拮抗したメンバーから選抜した結果なので記録が落ちることはない。ミスがなければ 41 秒中盤もいけるだろう。

4×400mR

花谷 直人 (4)	50.39
藤井 健輔 (3)	52.22
藤井 章輔 (3)	50.93
村地 優樹 (3)	48.60
堀江 匠 (2)	
水谷 太郎 (1)	49.91
涌井 健策 (1)	54.08

オーダーは決まっていないが、おそらく花谷、藤井章輔、村地、水谷が出場すると思われる。関西インカレのメンバー 3 人に、さらに水谷が加わるという形になっており、かなり良い記録が期待できそうである。最後の種目であり全員が複数種目出場となっているため、特に村地や水谷の疲労が心配なところであるが、皆非常に高い実力を持っており、1 日で 3 本のレースくらい軽くこなしてくれるであろう。マイルリレーは短距離陣の威信がかかっている種目である。総合優勝とともにマイルリレーでも勝利し、完全優勝を果たしたい。

走高跳

渡邊 浩一 (4)	2m00
横矢龍之介 (2)	1m93
松久 佳弘 (1)	1m80

七大戦での跳躍は東大に惨敗。こちらが停滞している間にあちらの成長は著しい。老兵は去るのみ、渡邊はラストジャンプ。せめてもの置き土産に 1 人でも東大をかわしたいところ。横矢は HJ はすっかりお見限りだが出れば仕事することは請け合い。何ならついでに 2m 跳んでくれてもかまわない。東大にライバルを見つけて松久は燃えている。HJ の未来は彼にかかっているといっても過言ではない。

棒高跳

佐藤真一郎 (4)	3m60
垣畑 陽 (3)	3m20
森 一 (3)	2m50

七大戦以降にわかに盛況となった棒高パートは久々のフルエントリー。今のところ 4m ヴォウルターはいないがそれも時間の問題である（それと予算の問題である）。目下すべてに絶好調の垣畑を筆頭に、いつの間にか跳躍選手にもなっていた佐藤(真)、いよいよ本格的に跳躍にコンバートの平野、三者三様のパフォーマンス(と結果)を約束してくれることだろう。東大を屠る日は(今日明日というわけにはゆくまいが)そう遠くない。

走幅跳

垣畑 陽 (3)	6m62
杉本 昌大 (2)	7m08
高橋 孝治 (1)	6m42

エース杉本がいよいよ復帰する。弱い跳躍パートをもうこれ以上黙ってみてられない。まだ万全ではないが、しかし溜まりに溜まった鬱憤をこの一本にかける。となれば 2 番手 3 番手の 2 人も黙ってはいないだろう。気分は十種の垣畑にしてみれば 6 回の試技など多すぎるぐらいである。そしてそんな二人のことを、指を咥えて見ていられるほど高橋も温くない。静かな応援が彼らに火をつけることだろう。

三段跳

佐藤真一郎 (4)	13m80
福山 大典 (3)	15m38
横矢龍之介 (2)	14m33

福山はもう何も言わない。調子の良し悪しなど聞くも愚かである。関西IC以来対抗戦で勝ち続ける彼の前に敵はない。もしいるとすればそれは東大ではなく京大だ。横矢がひそかに期すところあるのは佐藤(真)が明らかに期すところあるのと同じくらい明らかであるとは言えないとは誰にも言うことはできないだろう。いずれにしても彼らがそろって手が痛くなるまで手拍子させてくれるだろうことは間違いない。

砲丸投

河村 和彦 (4)	10m99
竹村顕大朗 (3)	12m55
森川 陽介 (1)	11m55
田中 聡一 (1)	10m30

竹村、森川の1、2位はほぼ確実であり、竹村は自己記録更新、来年の関西インカレの標準である12m80越えを狙って欲しい。森川は竹村の記録に近づけるように頑張ってもらいたい。

3人目は河村、田中のうち調子が良いほうがでることになるが、どちらがでても3位は十分狙える位置にいる。

この種目は1、2、3位独占できる可能性が非常に高いので期待できる種目である。

円盤投

河村 和彦 (4)	33m49
松田 俊 (2)	
吉崎 圭祐 (1)	28m99
田中 聡一 (1)	28m05
森川 陽介 (1)	24m22

持ち記録的には2位、5位、6位となっはいるが、河村は先日自己記録を更新し、調子が上がっている。また1回生2人は、まだまだ発展途上で練習の度に記録は伸びており、本番までにはさらに記録を伸ばせると考えられる。全体でも勝ち越しを狙っていききたい種目である。

ハンマー投

河村 和彦 (4)	44m85
木村 克也 (2)	35m88
松田 俊 (2)	25m83
杉本 昌大 (2)	
田中 聡一 (1)	23m63

河村は一昨年、昨年と優勝しており今年も優勝を狙っていききたい。調子はあまり良くないが最後の試合なので自己記録を目指して欲しい。

木村は七大戦では自己記録を更新し3位に入った。この勢いで今回は40m越えを頑張ってもらいたい。

残り1名は現時点ではまだ決まっていないが全員30mは越えていきそうであり、十分上を狙える。全体でも勝ち越せる可能性が高いのでまず投擲第一種目のハンマー投げで勢いをつけたい。

やり投

垣畑 陽 (3)	48m42
真鍋 文朗 (3)	34m83
浜田 良太 (3)	34m56
松田 俊 (2)	50m29
高橋 孝治 (1)	35m56

松田は、七大戦では自己記録に近い50m29を投げ4位に入った。その後足首を捻挫するなど怪我に見舞われたが、現在は回復しており、今度は自己記録更新を狙って欲しい。

垣畑は肘の調子も良くなり、専門の十種競技でも記録を更新し調子は上がっているのだから記録を狙えそうである。

3人目は未定である。全体でも勝ち越せそうであり、投擲最後の種目としてさらに差をつけたいところである。

女子100m

北川 佳奈 (3)	13.85
海野 益代 (1)	13.92

大学に入って以来実力がありながらも発揮できない状態が続いていた北川であるが、ようやく13秒台をマークし、復調の兆しを見せている。とはいえ本人はまだまだ不満のようであり、練習も着実に積んでいる。今回は更なる記録を期待できそうである。

海野は大学デビュー戦となった七大戦で13秒台をマークしているが、彼女の実力はこの程度ではないだろう。高校時代走幅跳で5mジャンプを成したスプリントがどれだけ戻ってきているか楽しみである。

100mではやはり東大の方が抜きん出ているが、彼女らを脅かすようなレースを展開してもらいたいものである。

女子400m

滝上 伸子 (3)
溜 宣子 (3)

400mを専門とする選手がいなかったため、滝上と溜の2人が出場する。滝上はいまだ不調であるが、専門外の種目に出ることで何か新しいものをつかんでもらいたい。溜はどれだけスプリント種目に対応できるかわからないが、スピードの高いレースを経験する事で今後の800m、1500mに生きてくるだろう。どちらも初の400mとなるためどれだけ走れるかは未知数であるが、気後れせずに積極的なレースを期待したい。

女子800m

山下 里絵 (3)	2.34.52
岩瀬 祥子 (3)	2.35.31

次期女子主将の岩瀬と、次期主務の山下が出場。今期は両者とも順調であり、七大戦でベストを更新している。東大に2分20秒を切る選手が1人いるが、2位と3位は確保したいところ。東大との争いはもちろん、京大2人の競り合いにも注目である。今回もベスト更新を期待したい。

女子3000m

田端亜衣子 (4)	10.48.30
中村奈都子 (3)	11.25.7

七大戦と同じく、田端と中村が出場する。

田端は夏以降、ケガなく練習をこなせており、どんな練習でも強さを見せるなど、どんどん実力を上げている。男子についていく気迫をレースでも見せ、優勝を飾ってほしい。

中村は故障も回復し、やや苦手としている夏場を乗り切って体調も戻りつつある。急激に涼しくなっているのは他の選手と比べてもプラスであり、好走できる条件は整っている。

東大に強い新生が加入したようだが、対校得点では是非とも勝ち越してほしい。

女子4×100mR

北川 佳奈 (3)	13.85
滝上 伸子 (3)	14.21
海野 益代 (1)	13.92
森村あかね (1)	

オーダーは森村—海野—滝上—北川の予定である。森村の入部により、ようやく短距離・跳躍陣でメンバーを組めるようになった。森村は入部してから日が短いため、どれだけ走れるかは不明であるが、愛の力で好走してくれるだろう。他の3人は疲労が気になるころであるが、それを考慮しても54秒あたりの記録を残せることだろう。

この種目においてもやはり東大の実力の方が圧倒しているが、リレーではバトンミスなどが起こるかわからない。最後まで諦めず、ミスのないレースをしてもらいたい。

女子走幅跳

北川 佳奈 (3)	4m89
海野 益代 (1)	

女子の幅跳び選手が増えている。昨日今日のことではないがいつの間にか増えている。そして彼女たちは戦える。自分とだけではなく敵とも戦える。となるとわれわれも応援できる。求められもしないのに手拍子で応援できる。ピットは舞台だ。ヒロインは私だ。北川も海野も資格は十分、準備も万端。そのスポットライト、少なくとも東大にだけは浴びさせない。今、女の戦いが熱い。

女子砲丸投

北川 佳奈 (3)	7m43
森村あかね (1)	

2人とも投擲種目は専門ではないが、北川は短距離のスピードと幅跳びの跳躍力、森村も幅跳びの選手なのでそのバネを生かせば好記録が期待できる。是非とも頑張ってください。

第4 1 回近畿地区国立大学体育大会陸上競技

(8/3 神戸ユニバ)

男子総合成績

1位	大阪大	143点	(T73点 F70点)
2位	京都大	130点	(T68点 F62点)
3位	神戸大	125点	(T80点 F45点)

女子総合成績

1位	大阪教育大	149点	(T98点 F51点)
2位	京都教育大	115点	(T39点 F76点)
3位	大阪外語大	36点	(T29点 F7点)
7位	京都大	18点	(T18点 F0点)

100m			
松井 延行	4位	11.32	-1.9
	(予)	11.30	-1.3
石田 真大	5位	11.33	-1.9
	(予)	11.32	-0.8

200m			
村地 優樹	4位	23.36	-1.5
	(予)	23.43	-2.5
堀江 匠	6位	23.47	-1.5
	(予)	23.20	-1.2
藤井 健輔	(予)	23.47	-2.3

800m			
岡本 英也	2位	2.00.33	
	(予)	2.02.00	
桑原 昇	(予)	2.06.32	

1500m			
三好 達也	7位	4.19.27	
	(予)	4.30.30	

5000m			
菅原 健志		16.20.10	
渡辺 敬宏		16.48.02	
宇部 達		16.59.59	

110mH			
佐藤真一郎	1位	15.40	-0.7
	(予)	15.20	-1.1
尾崎 禎亮	8位	17.01	-0.7
	(予)	15.80	-0.7
白方 朗史	(予)	16.61	-1.1

400mH			
水谷 太郎	2位	54.17	
	(予)	56.07	
寺田 悟	4位	55.90	
	(予)	58.06	

3000mSC			
佐藤 章徳	1位	9.32.83	
西村 好康	3位	9.42.36	
大崎 友数	8位	10.17.67	

スウェーデンリレー			
[松井 - 堀江 - 水谷 - 村地]	3位	1.58.38	

走高跳			
松久 佳弘	6位	1m70	
棒高跳			
佐藤真一郎	4位	3m40	
垣畑 陽	5位	3m20	
森 一		NR	
走幅跳			
高橋 孝治	7位	6m42	+1.1
森 一		5m84	+0.6
三段跳			
福山 大典	1位	14m74	+2.6
横矢龍之介	4位	13m82	+1.7
砲丸投			
竹村顕大朗	2位	11m81	
森川 陽介	3位	11m44	
河村 和彦	5位	10m73	
円盤投			
河村 和彦	3位	31m60	
垣畑 陽	7位	27m90	
吉崎 敬祐		27m68	
ハンマー投			
河村 和彦	3位	43m13	
木村 克也	5位	35m01	
やり投			
真鍋 文朗		NR	

女子100m			
北川 佳奈	7位	14.09	-0.7
	(予)	13.85	+0.4
滝上 伸子	(予)	14.78	-0.3

女子200m			
滝上 伸子	6位	31.35	-2.4

女子800m			
岩瀬 祥子	(予)	2.39.82	
細尾 萌子	(予)	2.49.08	
溜 宣子	(予)	2.49.97	

女子1500m			
田端亜衣子	8位	5.14.83	
山下 里絵		5.24.59	
中村奈都子		5.32.43	

女子100mH			
北川 佳奈	2位	17.16	-0.5

女子4×100mR			
[海野 - 滝上 - 北川 - 岩瀬]	4位	56.55	

第73回同志社大学・京都大学対校陸上競技大会

(8/25 山城総合運動公園)

総合成績

1位 同志社大 57点(T33点 F24点)
 2位 京都大 45点(T23点 F22点)

100m(-1.1)			
松井 延行	3位	11.20	
花谷 直人	5位	11.33	
米谷 健司	6位	11.58	
200m(-0.8)			
藤井 章輔	2位	22.64	
村地 優樹	4位	22.98	
花谷 直人	5位	23.02	
400m			
村地 優樹	4位	50.09	
水谷 太郎	5位	50.40	CB
藤井 健輔	6位	52.22	
800m			
前川 真彦	1位	1:57.02	PB
岡本 英也	2位	1:57.68	
磯島 弘	4位	2:01.06	
1500m			
西村 好康	2位	4:07.86	
三好 達也	3位	4:11.82	CB
加藤 圭祐	5位	4:21.74	PB
5000m			
西村 好康	1位	16:15.55	
宮木 貴志	2位	16:29.06	
菅原 健志	5位	16:42.61	
110mH(-2.2)			
若山 哲志	2位	15.56	
尾崎 禎亮	3位	15.72	
白方 朗史	5位	16.66	
400mH			
水谷 太郎	2位	52.86	京大新
桑原 昇	5位	59.88	PB
藤森真一郎	6位	61.99	
4×100mR			
[松井 - 花谷 - 藤井章 - 米谷]	2位	42.51	
4×400mR			
[花谷 - 藤井章 - 水谷 - 村地]	2位	3:24.27	

走高跳			
松久 佳弘	1位	1m80	PB
棒高跳			
垣畑 陽	2位	3m20	
森 一		NR	
走幅跳			
垣畑 陽	2位	6m62(+1.0)	PB
高橋 孝治	4位	6m41(+2.5)	
		6m40(+0.7)	
福山 大典	5位	6m37(+0.2)	
三段跳			
福山 大典	1位	14m88(+0.6)	
北島 昭文		NR	
砲丸投			
竹村顕大朗	1位	12m12	
森川 陽介	3位	11m55	PB
吉崎 敬祐	6位	9m48	PB
円盤投			
河村 和彦	2位	33m49	PB
吉崎 敬祐	5位	28m99	PB
田中 聡一	6位	28m05	PB
ハンマー投			
河村 和彦	1位	41m87	
木村 克也	2位	34m19	
田中 聡一	6位	22m69	
やり投			
松田 俊	3位	44m88	
垣畑 陽	5位	36m06	
真鍋 文朗	6位	34m83	PB
オープン 100m(-0.3)			
若山 哲志		11.08	PB
石田 真大		11.24	CB
尾崎 禎亮		11.62	
オープン 200m(+0.2)			
浜田 良太		23.87	
オープン 400m			
栗村 聡資		54.07	PB
藤森真一郎		55.33	
オープン三段跳			
栗村 聡資		13m31(+0.7)	
オープンやり投			
田中 聡一		38m45	PB
浜田 良太		34m56	PB
河村 和彦		31m77	PB
オープン砲丸投			
田中 聡一		10m30	PB

背戸が100kmマラソンの世界大会に出場決定！

今年6月29日に行われた、サロマ湖100kmマラソンにおいて、7時間45分48秒で7位入賞を果たした背戸和寿(4)が、11月に台湾で開催されるIAU100kmワールドチャレンジに、日本代表として出場することが決定した。



蒼穹ニュース 平成15年度 第5号
平成15年9月25日 発行

発行所：京都大学体育会陸上競技部
編集者：宇部達・瀬々井巖士・渡寛法（副務）
特別協力：森一・田中齊太郎（学連員）・滝上伸子（体育会員）
山田修裕（記録係）・山下輝芳（HP係）
写真担当：杉本昌大・堀江匠・木村克也

陸上競技部 HP <http://www.geocities.co.jp/Athlete-Samos/2360/>
蒼穹ニュース HP <http://www.geocities.co.jp/Athlete-Samos/2360/soukyu.htm>
陸上競技部記録 HP <http://homepage2.nifty.com/bridge-as/>
関西学連 HP <http://gold.jaic.org/jaic/icaak/index.htm>
メールアドレス tak.sesei.jk6esi@siren.ocn.ne.jp（瀬々井）